

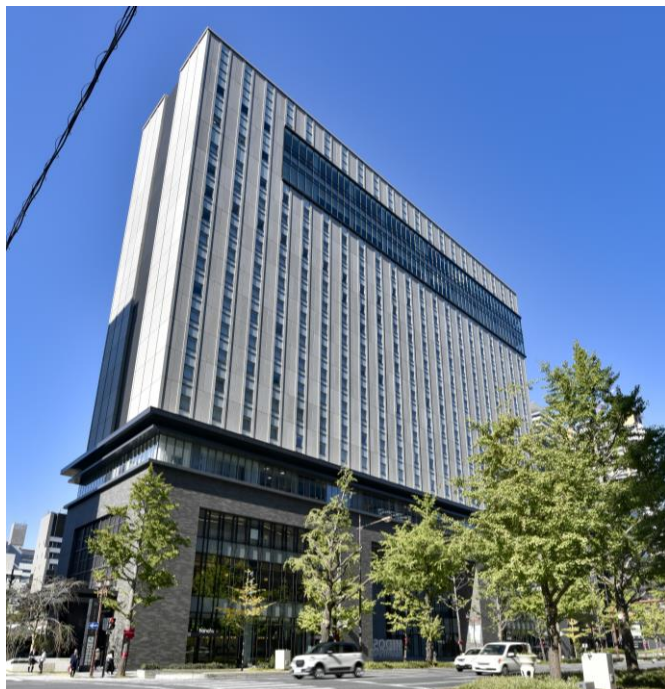
御堂筋デザインガイドライン（御堂筋本町南地区）

別冊

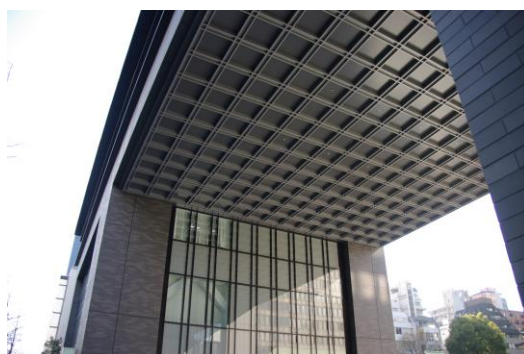
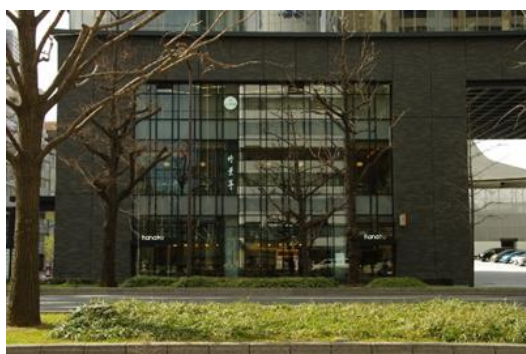
誘導事例集

建物全体・軒線・分節のデザイン事例

〈建物全体・分節のデザイン、壁面素材〉1.1.2 1.1.3 2.2.2



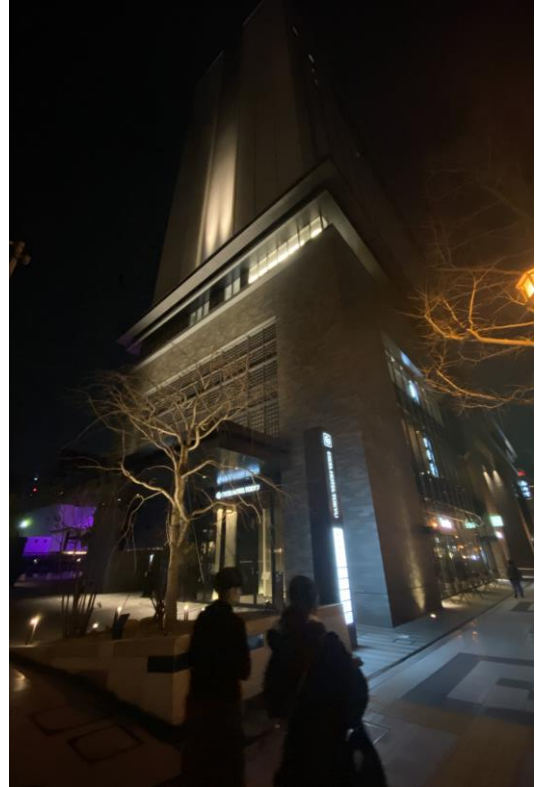
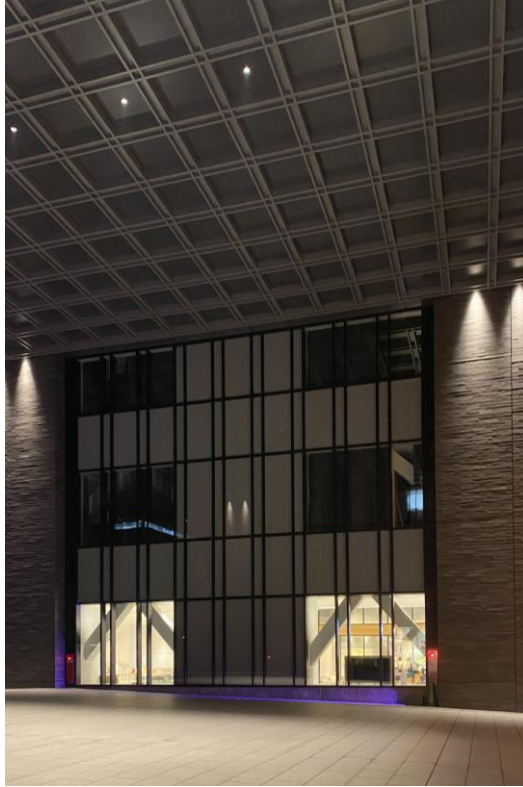
- ・ 落ち着いた色のあるタイルにより安定感の感じられる低層部に対し、中高層部は上昇感が感じられる縦のデザインとしている。
- ・ 低層部と中高層部で、外壁意匠や色彩を変化させるとともに、底部の意匠やその形態により創り出される印影等により分節部を立体的に見せている。
- ・ 低層部は落ち着いた色のあるタイル打ち込み PC 板、中高層部の PC 板はブラスト処理の上、耐久性のあるフッ素加工を施している。



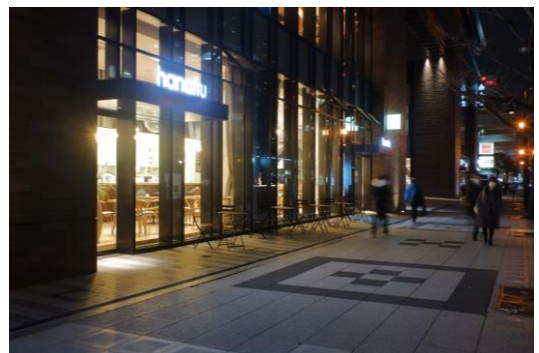
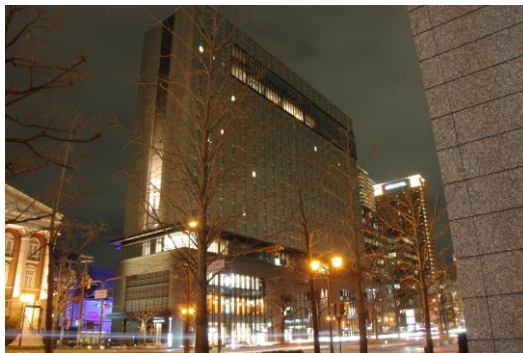
- ・ 壁面をガラス主体の透過性のある構成とし、店舗内のにぎわいを沿道に伝えることでにぎわいを創出している。
- ・ 中高層部と低層部の中間層としてガラスの連続面が挿入されている。中間層部分に山門建築の二重庇も現代風に取り入れている。

建物外観の夜間照明事例

〈夜間照明〉1.1.6



- ・ 壁面に光を沿わせることで壁面を印象的に見せている。



- ・ 低層部の室内照明の漏れ光により、沿道を柔らかく照らし、にぎわいを演出している。

〈夜間照明〉1.1.6



- ・ 50m軒線の軒裏を柔らかなあかりで照らしながら、壁面の立体的なあかりと調和させている。



- ・ 外壁の柱側面の間接照明やあかりの当たらない影面を創り出し、壁面を立体的に見せている。

建築設備等の修景事例

〈屋外階段の修景〉1.3.1



- ・ 屋外階段を御堂筋から見えない位置に配置するとともに、ルーバーで覆い、外部から目立たないよう配慮している。

壁面後退部分・船場後退部分の設え事例

〈敷地内舗装の設え〉1.2.6



- ・ 御堂筋の歩道舗装（グレーの自然石）と一体感が出るよう、同等な色彩の自然石舗装としている。

〈地域資源の繋がりの配慮〉



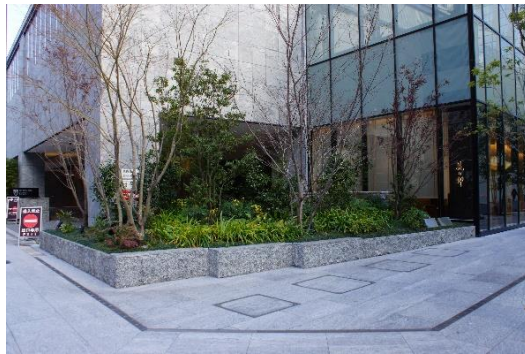
- ・ 本件地の歴史性を踏まえ、豊臣秀吉ゆかりの醍醐寺の桜を培養した「太閤千代しだれ桜」を採用している。
- ・ 交差点部分の重要性を考慮するとともに、南御堂の石垣との連続性を意識した石の立ち上がり設けている。
- ・ ホテルのエントランス部を和風に設えることで、歴史的景観に配慮している。

〈東西通りの植栽配置〉1.2.1 1.2.2



- ・ 東西通りの道路沿いに植栽を配置することで、建物側に空間を確保するとともに、緑越しに見える建物外観の印象を和らげている。
- ・ 東西通りにおける常緑樹の列植による高木植栽。通路沿いに配置することで、通り方向への視線を誘導している。

〈目的をもった植栽の活用〉1.2.1 1.2.2



- ・ 建物コーナー部を植栽地にして、四季折々の植栽を行っている。中高木や低木、地被植物などを織り交ぜ立体的な植栽地としている



- ・ 竹の垣根仕立てで車両出入口付近を修景している。



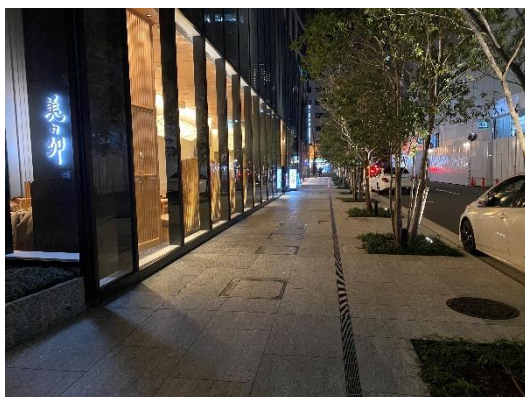
- ・ 建物北面において、日陰にも強い落葉高木のヒメシャラの植栽により、花や紅葉、落葉等による季節感の彩りを添えるとともに、冬場には明るい参道空間を創出している。



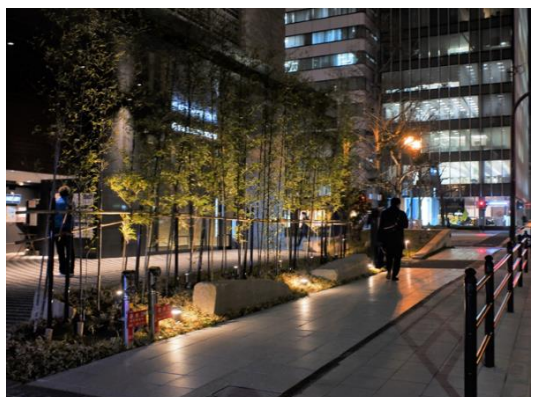
- ・ 高木植栽の植栽柵に地被植物による根締め植栽を行っており、路面まわりの緑の印象を高めている。

壁面後退部分・船場後退部分の植栽事例（夜間）

〈夜間の植栽ライトアップ〉1.2.5



- ・ 通りに面した高木植栽を連続的にライトアップして歩行者動線を照らしている。



- ・ 車寄せ付近の竹植栽をライトアップしてエントランス周りを象徴的に演出している。

低層部のにぎわい用途の導入事例

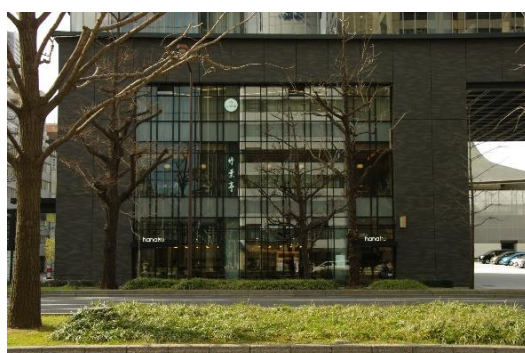
〈にぎわい用途〉2.1.1 2.2.2 2.3.1



- ・ 歴史や文化に触れることのできるギャラリーラウンジを設けている。また、定期的に展示内容を切り替えたりイベントを企画することにより、にぎわい形成に寄与している。



- ・ 1階部分に不特定多数の来訪者を対象とする飲食店を導入することで人の流れを生み、にぎわい形成に寄与している。



- ・ 壁面をガラス主体の透過性のある構成とし、店舗内のにぎわいを沿道に伝えることで、にぎわい形成に寄与している。



- ・ 御堂筋に面していない道路の低層部においてにぎわい用途を導入することで、人の流れを東西方向へ拡張している。

オープンスペースの利活用事例

〈カフェ等の設置を行っている事例〉2.2.5 2.4.1 2.4.2



- ・テナントのオープンテラスとして使用されており、家具やパラソルの色彩は店舗や周辺の雰囲気と調和の取れたものとしている。店舗内の雰囲気を屋外に滲み出させることで、にぎわいを生み出している。



- ・定期的にマルシェを開催することにより、気軽に立ち寄ることのできる雰囲気を生み出し、にぎわい形成に寄与している。

〈キッチンカーの導入を行っている事例〉2.2.5 2.4.1 2.4.2



- ・壁面後退部分にキッチンカーの導入を行っている。昼間の時間帯等、人の通行量が増加するタイミングに合わせて出店したり、イベント時に店出することでにぎわい創出に寄与している。

〈期間限定のイベントの事例〉2.2.5 2.4.1 2.4.2



御堂筋グランピング

出典：BELOVED STREET MIDOSUJI HP



御堂筋天国

- ・期間限定のイベントに合わせた多様なオープンスペースの利用方法が見られる。御堂筋グランピングでは、イベントの雰囲気に合わせて芝生を引く等の工夫がなされている。

屋外広告物事例

〈低層部のサイン〉2.2.4 2.6.1 2.6.3



- ・シンプルな白色の箱文字サインを配置し、周囲とも調和している。



- ・壁面に必要最小限の大きさのサインを掲示し、シンプルに演出している。



- ・1階店舗のエントランス付近の店舗サインについて、設置位置やサイズ感を合わせ、統一感を出している。



- ・壁面に必要最小限の大きさのサインを掲示し、シンプルに演出している。



- ・コンビニエンスストアのコーポレートカラーを使用せず、周囲の景観に配慮している。
- ・窓面広告を抑えることで、コンビニでありながらすっきりとした外観となっている。

〈低層部のサイン〉2.2.4 2.6.1 2.6.3



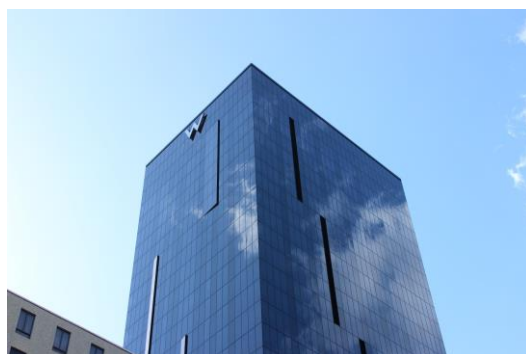
- ・ 1階店舗入り口付近のサインを、シンプルな白色の箱文字サインとしている。

〈地上部の集合サイン〉2.2.4 2.6.1 2.6.3



- ・ ヒューマンスケールな集合サインとするとともに、統一感のあるデザインとしている。
- ・ サインの形態意匠や色彩を合わせて、統一感を持たせている。

〈中高層部の壁面サイン〉2.2.4 2.6.1



- ・ 景観に配慮し、外観意匠を損なわないよう、シンプルな白色の箱文字サインを配置している例。

本誘導事例集は、御堂筋本町北地区・南地区において、御堂筋デザインガイドラインによって誘導された建築物の事例等を取りまとめたものです。（大阪市計画調整局 令和6年3月）